



広がる活躍の場！

いのちを支える

看護職



人の生命と生活を支え、やりがいのある仕事「看護職」。今年は、看護基礎教育の母、ナースンゲールの生誕200年でもあります。県ではその養成や人材確保のため、どのような取組を行っているのか、看護職を目指す学生や看護職員の声とともにご紹介します。

県内ではおよそ23,000人の看護職員が活躍中！

新型コロナウイルス感染症の対応など、医療の最前線で奮闘されている看護職員の方々。栃木県の看護職員数は年々増加していますが、人口10万人当たりの就業者数は全国に比べ少ないのが現状です。高齢化が進む中、医療や介護などに携わる看護職の需要はますます高まることが予想され、その確保は重要な課題となっています。

出典：厚生労働省「平成30年度衛生行政報告例(就業医療関係者)の概況」



看護師

治療を受けながら生活する患者さんの療養上の支援や診療の補助をしています

県内人数 16,479人 **41位**
人口10万人当たりの就業者数 846.8人(栃木県) 963.8人(全国)



准看護師

医師や看護師をサポートし、患者さんの療養上の支援や診療の補助をしています

県内人数 5,864人 **23位**
人口10万人当たりの就業者数 301.3人(栃木県) 240.8人(全国)



保健師

県民の健康を守るため県市町等の行政機関や、企業等で保健指導をしています

県内人数 953人 **32位**
人口10万人当たりの就業者数 49.0人(栃木県) 41.9人(全国)



助産師

妊娠、出産、産後の母子のケアなど、女性の健康をトータルサポートしています

県内人数 538人 **33位**
人口10万人当たりの就業者数 27.6人(栃木県) 29.2人(全国)

県ではこのような支援を行っています！

養成・県内定着の促進

●看護師等養成所の運営助成や看護職員修学資金の貸与など

離職防止

●病院内保育所の運営助成や新人看護職員への研修等の充実など

再就業の促進

●就業希望者向けの研修等、安心して再就業できる環境の推進など

資質の向上

●看護職員等を対象としたさまざまな研修会の計画的な実施など

VOICE

看護学生と看護職員へのインタビュー！

看護職を志したきっかけや、その魅力、復職後の勤務の様子などについてお話を伺いました。

栃木県立衛生福祉大学校 看護学科(本科)3年生の皆さん

看護学生の声

看護師の母を持つ学生は「けがをしたとき、看護師である母がそばにいてくれると、安心した。技術面はもちろん、精神面でも目の前にいる人を安心させられるというところに魅力を感じている」と話してくれました。また「看護師は患者さんと距離が近く、一番状態を知ることができる。患者さんにとって悩みを言いやすい存在でありたいし、病気に苦しんでいる人の支えになれるのは素晴らしいことだと思う」と看護職の魅力を語る学生も。



学校の学びについて聞いたところ、「全部大変だけれど、この先に対象の患者さんがいると思うと、今勉強していることを誇りに思えるし、尊いことをしていると思える」「実際に実習で患者さんに援助をしたときは緊張したけれど、“ありがとう” “良い看護師になれるよ”と声を掛けてもらえて嬉しかった」そう話してくれました。最後には「患者さんの心に寄り添って、自分がいることで落ち着く、安心するような看護師さんになりたい」と将来への抱負も話してくれました。



実際に見せてくれたベッドメイキングの様子



転職・復職・進路等 看護に関する相談は

栃木県ナースセンターへ

☎028-625-3831 ☎028-625-8988 (平日:午前9時~午後5時)
宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階



看護職相談員が求職・求人に関する相談や研修、就業に関する支援などを行います。現役の看護職のスキル・キャリアアップはもちろん、現場から離れた方への復職支援の研修など、さまざまな形でサポートが可能。悩み相談など困ったときに頼りにされるセンターを目指しています。

研修制度

年齢や経験を問わず、さまざまな研修で看護職をバックアップしています。

- 新人看護職員研修
- 看護職員再就業支援研修
- 訪問看護師養成講習会 など

「看護の心」普及事業

多くの方に、看護に対する理解と関心を深めてもらうためにさまざまな事業を行っています。

- 「看護の日」記念行事
- ふれあい看護体験
- 出前講座 ●看護週間 など

届出制度

看護師等の届出サイト

とどけるん

結婚や出産・育児等で退職した時に「届出制度」に登録をすると、研修を含めた総合的なサポートが受けられます。スムーズな復職のためにもぜひご利用ください。



届出をお待ちしています



パソコンやスマートフォンから、「免許番号」「登録年月日」などを入力して登録できます。詳しくは [とどけるん](#)



とちぎ訪問看護ステーションうつのみや
緩和ケア認定看護師・訪問看護師
檜山 和子さん

看護職員の声

県立がんセンターに20年勤務し、退職後、1年半現場から離れました。その後、現在の訪問看護ステーションに復職しています。

復職を考えたとき、以前から訪問看護に興味があったため、訪問看護師養成講習会に参加しました。実際に現場を見学し、患者さんと看護師の距離の近さに驚き、改めて訪問看護師を目指す大きなきっかけとなりました。

緩和ケア認定看護師の資格を取得していたため、専門的な視点で看護にあたることができ、前職での経験も活かしています。

実際に訪問すると、病院では見ることができないご家庭での様子やこれまでどう生きてこられたのかなど、患者さんが大切にしてきた価値観を知ることができ、日々学びながらやりがいを持って働いています。

看護職員の声

医療法人社団全仁会宇都宮中央病院
地域包括ケア病棟 看護師
秋山 明里さん



看護の道へ進むことを決めたのは、ご自身が35歳のとき。育児等のため3年間現場を離れた後、現在の病院に復職しています。

元々看護職を志したきっかけは、出産のときに助産師さんのかっこいい姿を見たことでした。一度現場を離れ、復職をすることに不安がありましたが、看護職員再就業支援研修に参加し、実際に病院内を見学したり、現場で活躍している方から直接学んだりすることで、現場が身近に感じられ、自分が働くことを想像することができました。研修に参加せず、自力で復職していたら、現実とのギャップが大き過ぎてここまで続けられなかったと思います。

スタッフ同士の意見交換が盛んで雰囲気も良く、夜勤もありますが、働き方について要望を聞いてくれるので、自分のペースで無理なく働いています。